

目黒区子ども総合計画

(令和7年度～令和11年度)

令和7年度事業実績及び事業評価

目黒区
令和8年6月

目 次

1	プロジェクト・新規・拡充事業の実績及び評価	1
	未来につなぐ子ども・若者応援プロジェクト	2
	基本目標Ⅰ 子どもの権利が守られ大切にされるまち	4
	(1) 子ども施策の普及と啓発	
	(2) 子どもの意見表明・参加の推進	
	(3) 児童虐待の予防と発生時の適切な対応	
	(4) 権利侵害から子どもを守る	
	基本目標Ⅱ 子どもが自らの意思で成長することができるまち	20
	(1) 生きる力をはぐくむための切れ目ない支援	
	(2) 教育・保育の振興	
	(3) 子どものための多様な居場所づくり	
	(4) ところとからだの健康づくり	
	基本目標Ⅲ 子どもを安心して産み親子でいきいきと成長することができるまち	45
	(1) 誰もが安心して子どもを産み育てることができる環境づくり	
	(2) 子育て家庭への経済的支援	
	(3) 子どもと家庭への多様な支援	
	(4) 子育て家庭が集える環境づくり	
	基本目標Ⅳ 子どもが地域で育てられともに成長するまち	61
	(1) 多様な活動場所の提供	
	(2) 文化・スポーツ活動への支援	
	(3) 子どもの育ちを支える地域づくり	
	基本目標Ⅴ 子どもが安全にすごせる子育てにやさしいまち	69
	(1) 防犯・防災対策の推進	
	(2) 交通安全対策の推進	
	(3) 子育てにやさしい環境づくり	
2	継続事業の状況	72
3	計画全体の評価	82
4	子ども・子育て支援事業計画事業の実績	85
	(1) 教育・保育に関する計画	
	(2) 地域子ども・子育て支援事業に関する計画	
	(3) 乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）	

1 プロジェクト・新規・拡充事業の実績及び評価

令和7年3月に改定した子ども総合計画（令和7年度～令和11年度）は、個別事業を「プロジェクト」（「総合的な子ども家庭支援プロジェクト」「子ども・若者社会参画プロジェクト」「子ども・若者居場所づくりプロジェクト」）「新規」「拡充」「継続」の4つの区分にわけ、重点的に取り組む項目を明確化しています。そこで、「プロジェクト」「新規」「拡充」については、事業担当所管において実績に対する詳細な自己評価を行うこととしました（対象事業は63事業）。「継続」については、各所管での進捗管理を基本とし、継続の状況と今後の方向性（今後も継続して行うか、事業内容の変更はないか等）を確認しました。

【評価段階の説明】

評価段階		評価の内容
5	計画以上に達成した	目標を上回る成果があった・計画した以上にすすんでいる
4	達成した	目標どおりに事業内容が充実している・計画どおりにすすんでいる・予定どおりすすんでいる
3	ある程度達成した	ある程度すすんでいる。ある程度の成果は認められる
2	あまり達成できていない	少しすすんでいるが課題がある。計画どおりにすすんでいない
1	達成していない	わずかしすすんでいない・事業の実施や検討に至っていない

【着眼点別評価の際の考え方】

着眼点	評価の際の考え方
支援の質の向上	計画目標に掲げる内容を実施できたか。
	よりよい事業となるよう事業内容の充実や改善をしたか、または検討を行ったか。
量的拡充	量的な数値目標がある事業は目標とする量が達成できたか。
	申し込みや定員のある事業などは、定員オーバーなどへの対応や検討ができたか。
区民や地域等との協働	地域との話し合いや連携の機会等を持っているか。
	関係機関の間で連絡調整を行っているか。
区民ニーズに沿った事業運営	事業実施を通じて子どもの利益が尊重されているか。
	区民の目線に立った事業であったか。
	区民が必要とする事業内容であったか。
	子どもの参画はあったか。
安心・安全の確保	安心して生活できる状況が整っているか。
	事業が安全に実施できたか。
社会・経済、制度変更等への対応	社会的状況を踏まえて事業を実施できたか。
	予算や財政状況にあった事業を実施できたか。
	制度の変更に適切に対応できたか。

※ 複数の課で担当している事業のうち、担当課ごとに事業評価をした事業の実績報告書については、表題に色をつけています。